

光経済研究所株式会社

東京都中央区日本橋人形町 1-18-9 TEL 03 (3669) 2331(代)

証券投資顧問業登録関東財務局長第 557 号 日本証券投資顧問業協会会員 011-00557 号

平成 14 年 3 月 1 日号

ファンドマネージャー 出来岡 潔

<http://www.hikarikeizai.co.jp/>

前回(2月22日号と2月26日号のレポート参照)ご説明したことは、右肩上がりの上昇トレンドを描いている銘柄は基準線が下値の壁になることが多いし、反対に右肩下がり下降トレンドを描いている銘柄は基準線が上値の壁になることが多いということでした。

では今日は、基準線の向きについてご説明します。まずは(9432)NTTのチャートをご覧ください。青色の線が基準線です。上向きなのか下向きなのか向きをご覧ください…。昨年11月上旬から基準線は下がり続けています。ようするに基準線は下向き。この向きが肝心なのです。すなわち、基準線の向いている方向が相場の向いている方向なのです。基準線が下に向いているということは相場の向いている方向が下だということ…。

より詳しく、ご説明しますと、基準線とは立合い日数過去26日間の高値と安値のちょうど中間値段であるわけです。ということは下げ相場であれば過去26日間の高値も安値もどんどん切り下がりますから、当然その中間値段である基準線も下がり続けるわけです。しかし、株価が下げ止まって戻りに入り過去26日間の高値を上回ったら基準線が上に向くことになります。この瞬間こそが買い信号なのです!!

(9432)NTTチャートをご覧ください、下向きだった基準線が2月28日に上に向きました。相場の向いている方向が変わったということ…。

そこで今日のポイントは、基準線の向いている方向が相場の向いている方向。下向きだった基準線が上に向いたということは、これまでの下降トレンドに終止符を打って上昇トレンドに転換したということになります。

(無料テレフォンサービス)やさしいチャート教室 03-3669-5552

チャート



Alpha Chart 社製

光経済研究所株式会社

東京都中央区日本橋人形町 1-18-9 TEL 03 (3669) 2331(代)

証券投資顧問業登録関東財務局長第 557 号 日本証券投資顧問業協会会員 011-00557 号

平成 14 年 3 月 1 日号

ファンドマネージャー 出来岡 潔

<http://www.hikarikeizai.co.jp/>

チャート



Alpha Chart 社製

このレポートは投資の判断となる情報の提供を目的としたものです。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようにお願い致します。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。